【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2000-43943(P2000-43943A)
【公開日】平成12年2月15日(2000.2.15)
【出願番号】特願平10-212921
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６５Ｄ　81/02
　Ｂ６５Ｄ　57/00
　Ｂ６５Ｄ　85/42
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｄ　81/02
　Ｂ６５Ｄ　57/00　　Ｂ
　Ｂ６５Ｄ　85/42　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月22日(2004.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　額縁状の枠体と、
該枠体の内側に設けられ、杯状の被梱包物が伏せた状態で支持される、中央が隆起した略傘状の形状を呈した支持部
とからなる、合成樹脂製の梱包用パッドであって、
前記支持部が被梱包物の内部と相補的な形状を呈しており、
前記支持部の頂部の周辺が垂直方向に伸縮自在であり、
当該パッドを垂直方向に２つ以上重ねたとき、垂直方向に隣接する支持部と支持部との間に所定の空間が形成されてなる
ことを特徴とするパッド。
【請求項２】
　前記支持部の頂部の周辺に複数のスリットが同心状に穿設されてなることを特徴とする請求項１記載のパッド。
【請求項３】
　前記支持部の頂点から前記支持部の頂部の周辺まで放射状に複数のスリットが形成されてなることを特徴とする請求項１記載のパッド。
【請求項４】
　前記支持部の側面に、複数の略矩形状の孔が穿設されてなることを特徴とする請求項１記載のパッド。
【請求項５】
　前記支持部の側面に、蛇腹が形成されてなることを特徴とする請求項１記載のパッド。
【請求項６】
　前記被梱包物が、ＣＲＴディスプレーに採用されるブラウン管の管球材であることを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載のパッド。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、請求項１ないし５のいずれかに記載の被梱包物は、ＣＲＴディスプレーに採用されるブラウン管の管球材とすることができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
図１～１０を参照すると、本発明のパッド１は、額縁状の枠体２と、枠体２の内側に設けられ、中央が隆起した略傘状の形状を呈した支持部３とから構成されている。テレビやＣＲＴディスプレーに採用されるブラウン管の部品である管球材Ｃまたはガラスや陶器製の杯状の容器などの被梱包物は伏せた状態で支持部３に支持される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
支持部３は被梱包物である管球材Ｃの内部と相補的な形状を呈している。また、支持部３の頂部の周辺は垂直方向に伸縮自在である。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
枠体２および支持部３の材料としては、被梱包物を支持し得る剛性と、垂直方向に伸縮自在にし得る弾性とを備えておれば、どのようなものでも採用し得るが、たとえば、ポリエチレン、ポリプロピレン、ＡＢＳ樹脂、ポリスチレン、ポリ塩化ビニル、ポリカーボネートなどのもしくはこれらの共重合体、ポリカーボネート－ＡＢＳアロイなどの合成樹脂が用いられる。また、枠体２および支持部３の構造は、当該合成樹脂からなる合成樹脂層の１層構造でもよく、当該合成樹脂層と前述の合成樹脂の合成樹脂発泡体層とからなる２層構造でもよい。枠体２と支持部３とを別体とすることも可能であり、本発明に含まれる。